



磐城時報

五十町屋紺町平縣島
行發業輯紙
成弘田岡 人 刷 印
社報時城磐 上同所行發

新 年 號

謹 賀 新 年

新 年 の 辭

時代に年序の一線を劃して曆は爰に昭和第五年を迎へた正に是れ我開國紀元二千五百九十年である。皇統連綿整然として萬世一系の寶祥永しへに皇室の繁榮、ますます繁りに茂らせ給ふ、吾人は此の年序の劈頭に立ちて、輝ける大内山を仰ぎ拜して滿腔の誠意を披瀝し、恭々しく畏こみ謹みて、皇祥の無彊を祈り、聖壽の萬歳を祝福し奉る。

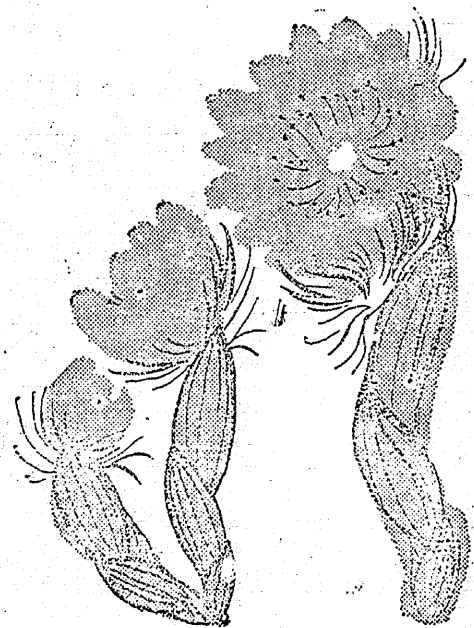
伏して惟みれば、今上陛下には一昨秋を以て曠古の盛儀なる御即位の大典を擧げさせ給ひ、又昨秋を以て神宮式年遷宮大祭を行はせられ、世界無比なる神ながらの我國粹はいよく宇宙に輝きむ燦然たる國光は萬邦の等しく仰ぎて讚賞の念を禁ぜざるものあるべきを信ず。

顧みて想ふ。昨年は社會一般の不況に直面して、財界時に困憊を訴へ、而して此間に於て政變は演ぜられたるが現内閣の組織せらるゝや其政策をして銳意緊縮を聲明し爾來着々として之れが成功完全に向つて努力されつゝあり。更に一面に於ては軍縮會議は開かれんとして既に我が代表出席者は使命を奉じ渡歐しつゝある俱に是れ昨年於ける二大事相として世人の最も注目を惹きたるものである。而して此二大事相は今次迎へたる昭和五年に於て其の良好なる結果のもたらさるべきを吾人は切に驍望期待しなければならぬ。轉じて他面に現はれ來る諸種の事象に對して須らく當事者措置極めて善處して萬遺憾なきを希望せざるを得ない。若し夫れ現内閣の熱叫さるる教化動員の如きに至つては特之を文教の上に止めしめず、思想混亂せる當面に於ては一般社會に對しても大いに其の成功の結果を祥りて已まぬものである。

要するに昭和五年の舞臺は、政界と言はず將た財界と言はず、有ゆる社會各方面に相當多望なるべきを信ずると共に益々國力の充實を圖り國威國光の發揚を期したいと思ふ。年首劈頭に望みて聊か一言を叙して以て新年の辭となす。

昭和五年一月元旦

磐城時報社同人



物人的表代のれ生歳午

石城地方を代表する

政治家木村清治氏

石城の産んだ政治家現衆議院が歴史的勢力を以て當選し普通議員木村清治氏は明治三年の午最初の代議士となつたわけである。歳生れ還暦の目出度い春を迎へる、一度び代議士となるや又々たわけである。木村氏は地方刀その手腕は遂に政府より認められ、圭界の重鎮にして而も政治的なる、處となり、本年ドイツに開重きをなしてゐる徳望家で、石かれた萬國議院商事會議に日本城郡大浦村の現住所に生れ幼に代表の委員として出張し會議にして頭腦明晰、夙に將來の大成參加した等木村氏の名譽のみを囑望されてゐた、半生を醫業なく石城の一大誇りと云はねばに捧げ傍ら地方産業の發展に努めらぬ。來る議會は解散さるゝ力し多大の犠牲を拂つてその進や否や目下の處境を許されな歩開拓に努力した、その頃よりい、解散となつて總選舉が行衆望を擔ひ郡會議員に擧げられはるゝに至らば地方民は一人の間もなくして縣會議員に當選す、異議者なく木村氏を推すであらる事數回、非凡の政治的手腕と云うが、傳へ聞く處によると今後清廉潔白なる人格とを以て誠心は出馬せぬ意嚮である由である誠意縣政に當つたため忽ちしが、氏の令忠守江氏は新進の醫て縣會に於ける代表的人物とな學士にして目下醫業に従事してり議長に推さるゝに至つた。か居り木村氏としては更に後顧のくして縣會議員をやめ政界を引退ひがなない人であるから此際私退せんとしたが衆望は遂に氏を情を離れ断然國家のため出馬せ引退せしめず過般總選舉に際ししめやうと地方民が努力してゐ衆議院議員候補者に擧げられたる事は當然な事である。

卅三歳で代議士

山田村長安島重三郎

石城郡山田村長安島重三郎氏もなる、時恰かも日露戦争當時で明治三年生れ故重三郎氏の長男あつたため視察員として滿鮮にである、幼にして學才非凡で群出張その勤功により勳四等旭日童を授け、長するに従ひ意を社章を授けらるゝ、その後地方産業會公共の事に致し地方開拓に努のため盡瘁今日に至つた人であ力した、明治三十年石城郡大地、現在に於ては石城郡農會會長主會を振出しに二十八歳にして石城郡産馬畜産組合長、山田村縣會議員となり更に縣土木常設長等の要位にあり社會公共の利委員、縣參事會員、地方森林會を計るを以て天與の使命と自覺議員の要職にあげられ、三十三し寢食を忘れ奮闘してゐるが、歳の若き身を以て衆議院議員と氏の如きは將に地方民の龜鑑と

言はねばならぬ。

成功家

吉田禮次郎氏

平町白銀町吉田禮次郎氏も明治三年生れ、青年時代に商を志し時代の進展と共に新聞販賣業を開始し平陽社を設け勇飛する事三十余年今日の成功を見るに至つた奮闘家である、事業の傍ら町會議員、郡會議員等にあげられ地方自治に盡瘁した功は一般で認めてゐる處である。

新年雜觀

虚禮廢止是非

平町 井上 生

近時虚禮廢止の聲がさかんである、これは頗る結構なことであるけれど、年賀の往來や名刺のやりとりなども、總て虚禮なりと非難する人がある私にはこれは一概にさがあることが出来ないと思ふ、節時の折目切目に禮意を致し知人の間で互に無沙汰を詫びるのは宜しいことである。歐米では新年よりも歳暮のクリスマス重じ、この日には遠近の知友に種々の意匠を盡した祝賀の名刺を贈りなかつ、賑はしもののである。如何なる知合の間柄でも差して用事のない時は一年中を無沙汰に打過すことが少なくない。けれど新年或はクリスマス等の節時があれはこそ、これを機として互に相忘れないところの意を致し、親睦の情をも表す得るのである。さうであるにもかかわらず虚禮だと云つて、一概に排して了ふのは感心しない。但し歐米クリスマス等の節時では、極めて近親のものではないれば親しく往來するの煩をさけて互に名刺を贈るだけである。我が國の年賀も段々

と親戚、朋友又は崇拜する長上の許にばかり往訪し、その他は年賀状の取り遣りばかりで事済ますやうになりつゝある。このやうな名刺の取り遣り換はせも一向に無沙汰に打過すより優つてゐるし、平生は思はじ疎音に過してゐても互に年賀状の來るのを見ればその交の永續するのを覺えて心持の悪いものではないだらう。總じて近時我國の風俗は理窟一片に傾いて乾燥無味に走ることが多い。舊來の五節句の如きもこれを残してをいでも一箇年に僅か四五の事であるこれを祝福して休み日とするのもあながち悪くはないだらう。歐米諸國でもその國俗に依つて、日曜以外にも一箇年に數度の安息祝日がある。われれが是らの日を待ちに待つた期會として身分相應に遊ぶのも又好ましい事である。

佐々木 顯

神代より磯のいは面のきよらかに波にあらはる幾千代かけ白砂をあゆみありその磯行くにたまたま波の足をあらふもひき潮に磯遊びする子のひと足すべらしてうちまろびけり

正月の外興と内趣

初詣、恵方詣、七福神参りをなし年中の福運を祈る、海に初日を拜するもよく、暖地の旅に寒梅を探るも興深い。市中は羽子板、萬歳、消防出初式等で賑はふ。家にあつては歌湯多合、團扇、将棋、謡曲、茶湯、双六、追羽子、和歌、俳句等の發會、善哉、牡丹の根接、桑、茶、果樹の施肥、促生豌豆、二十日大根等を温床に蒔く。

石城郡第一區小學校長會	石城郡第二區小學校長會	平砂糖商同業組合	豊間大敷網事業所	豊間漁業組合	信用組合平庶民金庫	湯本温泉旅館組合	湯本信用無盡株式會社	平町材木商業組合	平町公私學校長懇和會	石城郡第三區小學校長會	平町旅館組合	平運輸株式會社	小名濱漁業組合	福島電燈株式會社小高町營業所	原町組合銀行	磐城無盡會原町事務取扱所	株式會社常磐銀行小高出張所	原町藝妓屋組合	東京信用銀行鹿島支店
-------------	-------------	----------	----------	--------	-----------	----------	------------	----------	------------	-------------	--------	---------	---------	----------------	--------	--------------	---------------	---------	------------

四方拜祝賀
名刺交換會

平町警城中學校を始め各學校並に官公衙では一月一日午前九時一齊に四方拜祝賀式を催はし午前十時からは平町役場主催で聚樂館に於て名刺交換會を催はし伏見町長祝辭を述べ、皇室の萬歳を三唱して散會する。

謹賀新年

原町々會議員
請負 庄司卷造

相馬郡原町
原町紡織株式會社

大須村佐須鎮座
山神虎捕山神社社掌
久米松太郎

電氣値下げ
第二段運動

平町では電燈値下げの要求に對し東部電力より拒絶されたので二十七日午後役場内町長室に於て値下げ交渉委員會を開き協議の結果、會社の態度は余りに誠意がない、町としては極めて穩健に十六燭光(屋内)七十錢、十燭光六十錢に水戸同様に程度に値下げして欲しいといふ合理的な要求してゐるに對し、何等合理的な回答がない、八分しか配當してゐないので將來増配するやうな場合は考慮するといふのは永久に値下げしないといふに等しいといふので委員一同憤慨したが、不納同盟といふやうな大衆運動を起すわけにはいかなければ、明春早々第二段の對策を講ずる事になつた。

丸の内家具製作所

謹賀新年

平町長坂通り(電話五一四) 武藏鐵工場	平町新川町 中野勇吉	警城佑賢學舎 大和田豊吉	平町田町(電話六五九番) 野崎自動車部	平町字仲町 山野邊米店	平町紺屋町(電話一三八番) 炭屋旅館	牛・鳥肉料理 石川亭	かばやき・御料理 旅館 つたや	平町白銀町(電話三二二) 有聲座	帝キネ・マキノ 處方調劑・藥品一般 体温計・滋養藥品 化粧品 平町五丁目角 山野邊藥局	
食道樂 平町田町(電話四二三番) 大貞	平町極楽小路 瀨尾藥局	平町四丁目 聚樂館	平町二丁目 平館	大黒屋洋品店 平町二丁目(電話二一六)	家具漆器商 和久井屋	平町一丁目(電話四〇五) 百澤商店	平町三丁目(電話六七番) 中野吳服店	平町四丁目(電話四〇番) 關内藥局	平町四丁目 小野藥店	平町四丁目 勇屋履物店

箕輪爲吉

フオート自動車販賣 部一分品 織田商店	酒銘由良乃助 平町四丁目(平驛通り) 永山酒造店小賣部 電話二〇七番	昭聚和館 高橋大二郎	平町字紺屋町(電話一五九番) 住吉屋本店	警城共濟病院 電話六七一番	債券・兩替質商 多田井質店	平町田町 ベニヤ小鳥店	平町三丁目(電話十九番) 大谷時計店	平町二丁目 三井自動車部	平町二丁目 西村屋藥舖	山家タリヤス店 平町二丁目(電話六〇五番)	各種肉類 三二三屋	平町田町(電話三二三番) 平藝妓屋組合
----------------------------------	---	---------------	--------------------------------	------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------------	------------------------	-----------------------	--------------------------	---------------------	-------------------------------

謹賀新年

實川婦人科醫院 平町田町 電話二七〇番	高久病院 平町田町 電話五二三番	市原醫院 平町田町 電話二二四番	松村性腸科醫院 平町南町 電話一〇七番	明雲堂眼科醫院 平町驛前 電話六六九番	桑原接骨醫院 平町新町 電話九一一番	中村醫院 小名濱町 電話一八八番	久保田醫院 小名濱町 電話二二三番	森合齒科醫院 植田町本町	片岡醫院 植田町本町 電話一〇七番	前田醫院 植田町 電話二二四番	小林醫院 勿來町窪田 電話四八番	齋藤齒科醫院 勿來町窪田 電話二七番	齋藤齒科醫院 勿來町窪田	横山醫院 勿來町窪田 電話二〇番
------------------------	---------------------	---------------------	------------------------	------------------------	-----------------------	---------------------	----------------------	-----------------	----------------------	--------------------	---------------------	-----------------------	-----------------	---------------------

▲原町新年祝賀會 原町の明春一月一日同町公會堂に於て開催する新年祝賀會は緊縮の趣旨を以て官民合同の祝賀宴會費は三十錢と決定した。

新年文藝

山茶花 小野京子

さ庭にいつとはなしに散り敷く山茶花の花びらをじつと... 瞳めてあれば去年のくればはかなく逝きし姿と見えてそことなく涙流るゝ涙流るゝ。

▲花散りて 小野京子

山茶花の花散りてまた十九の春は逝く。わがこころ若きゆえ若き日の想ひは悲し、悲し。

新年と川柳

川柳は昔から民衆の詩だとか叫びだとか云はれてゐるだけであつて新年早々から名吟も少くない。今年こそ大晦日には早く仕事を仕舞ひ、ゆつくりと年を取らうと何れの家でもその心掛けをしてゐるけれど何が扱て一年の終りの日とて折角の外向の用を濟せば、家

印半天專明

内の用向や元旦の仕度にとさう夜に及び、ことによると大騒ぎの中に舊年、新年の境目である十二時の時計が鳴つて、舊年のしまいごまをしつづはやすでに新年に入るの類は、何れの家も珍らしくない。と見えて古川柳にも

据風呂に下女が入る中春になりなるほど家内總仕舞の殿りとして下女が風呂に入る頃は早や十二時を過ぎてゐるのは昔も今も變りがないところだらう。山の中に嵐の年始客

川柳はど氣の利いたものは他には少ないが、なるほどこれは實際ありさうなことである。また早く歌がたると言ふ字に手が五つ

是らも昔の句ながら今も同様で、かたの歌の人といふ頭字がつくのは五つどころか十も一時に手が出るだらう。また曰く

一日の御慶炬燵へとりよせ且那藤歸宅の後夜分に入り、それ、新年の名刺を持つて来いと云ふは、何れの家でも同じだらう。上るなど言はばかりの帳を出し

屠蘇と瓶花

年頭には大抵の家で屠蘇酒を飲むが、この習慣は支那から傳來したものである。といつても我國では何時の頃から始まつたものかちつと分りかねるが、どうやらかなり古い事であるらしい。然し本家本元の支那では、この習慣は久しく廢れてゐると見え、僕が北平に在つた時年頭に屠蘇酒のものを持ち出したが、誰も知るものがなかつた。そのなかで博學の一人のみが、日本に今尚ほこの習慣があるのを深く驚いてゐたやうな次第である。屠蘇酒は我が國では大抵の都邑で飲まれない。普通は清酒で事をすまふところも多いやうである。ところで三四年前のことであつたが、年頭に下總の銚子町に遊んだとき、元旦に屠蘇酒を祝はうと思つて注文したところ旅館の者はこの習慣を知らなくてあちこちの屠蘇屋を吟味してかううじてこれを得た。どがあつた、同地の如きは東京附近にありながら、このやうな有様では銚子といふ町名にさへ似合はからぬことである。このやうに屠蘇酒は用ひぬ土地はあるけれど、金殿玉樓から賤の伏屋に至るまで國內を通じて年頭に祝さないのである。蓋し屠蘇酒は餅もあれば清汁仕立もある。餅に添へるものにも家々にそれぞれ習慣があつて全圖同じではない。けれども大体から云ふ時は京阪地方には味噌仕立が多く、東京及び各藩の所謂お城下町には清汁仕立が多いやうである。

またお正月の瓶花も地方に依つて習慣が同じでない。東京では正月の瓶花に葉牡丹をさむものは甚だ稀であるけれど、京阪地方では洒落た家には必ず葉牡丹を挿けてないところはないといふ有様である。

喪中につき年頭の禮を欠く

これも町家の狭い處では往々見掛る實景である。この様に案じ来れば限りがないものであ

謹賀新年 櫻井忠陸

Table listing names and titles of individuals and organizations, including school principals, local officials, and business owners. Columns include names like 大越寅市, 橋本良助, 西哲治, 鈴木清助, 草野喜代治, 星新, 原町營業所, 廣瀨齒科醫院, 渡邊外科醫院, 松本酒造店, 本幡火藥店, 三業組合, 高井製糸部, 大浦寛治, 草野利八, 安部一衛, 今野義意, 村田忠藏, 牛渡惣, 高野與祖次郎, 折桑貞次郎, 佐藤弘毅, 佐伯忠雄, 伊東子之松, 大橋彌太郎, 佐々木清人, 戸浪忠人, 佐藤信義, 折笠重雄, 太田宗慈, 清信留之助, 豊田秀雄, 伊東子之松, 大和田長次郎, 大浦寛治, 草野利八, 安部一衛, 今野義意, 村田忠藏, 牛渡惣, 高野與祖次郎, 折桑貞次郎, 佐藤弘毅, 佐伯忠雄, 伊東子之松, 大橋彌太郎, 佐々木清人, 戸浪忠人, 佐藤信義, 折笠重雄, 太田宗慈, 清信留之助, 豊田秀雄, 伊東子之松.

喪中につき年頭の禮を欠く申し候

喪中に付年始の禮を御遠慮申上候

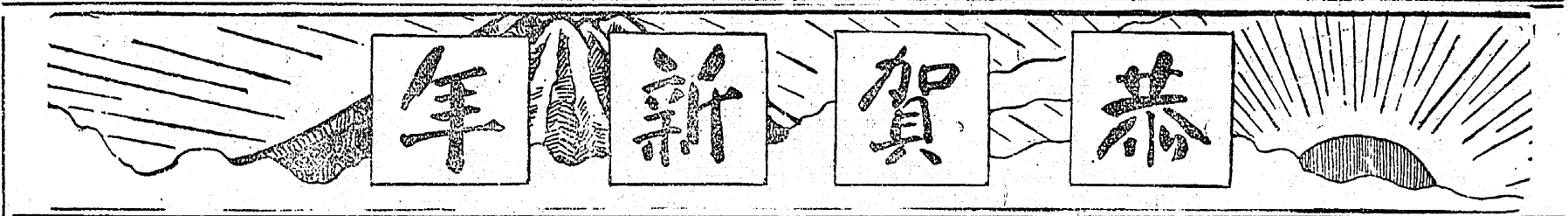
恭賀新年

<p>有煙・無煙・各種石炭販賣 高橋龜松 平町白銀町(電話六三八番)</p>	<p>磐城建物株式會社 支配人 井上貞治郎</p>	<p>磐城水産工業株式會社 社長 小野晋平 支配人 福尾伊太郎</p>	<p>東部電力株式會社平營業所 所長 永倉清次郎</p>	<p>石城郡植田町 磐城無盡商會 會長 小宅嘉久治</p>	<p>石城郡銀行組合</p>	<p>片倉磐城製糸株式會社</p>	<p>小名濱消防組頭 小濱長太郎</p>
---	---	--	--	--	-----------------------	--------------------------	----------------------------------

<p>津川炭礦 隅田川炭礦 好問元山炭礦 礦主 小田吉治</p>	<p>平町田町(電話四五六番) 駒場株式店</p>	<p>平町搔撻小路 阿部政右衛門</p>	<p>加藤丈夫營業所 貸家地所代理店部 平町白銀町(電話三三番) 早月益裁若販賣部 平町字大町 昭和乘馬會</p>	<p>炭礦用諸材木 三佐藤三平商店 內鄉村小島(電話四三〇番)</p>	<p>平町二丁目(電話十六番) 清關內油店 店主 關內正一</p>	<p>堀江工業株式會社 社長 江口忠一</p>	<p>平消防組幹部一同</p>
--	---------------------------------------	----------------------------------	---	--	--	---	------------------------

<p>平町仲町(電話七三四番) 二葉印刷所</p>	<p>高橋亘</p>	<p>平窪村 松本德一</p>	<p>石城郡勿來町 勿來繭絲市場 電話四十九番</p>	<p>平料理屋組合</p>	<p>平町二丁目 三井履物店 電話一五六番</p>	<p>平町會議員一同</p>	<p>小名濱大敷網事務所 山崎合名會社 電話一〇番・二七番</p>
---------------------------------------	-------------------	-----------------------------	--	---------------	--	-----------------------	--





<p>小野 晋平</p>	<p>山城郡大野村 山崎與三郎</p>	<p>木田 剛</p>	<p>高岡唯一郎</p>	<p>株式會社 平魚市場</p>	<p>錦消防組頭 山崎 登</p>	<p>石城郡川部村 土木請負業 中山吉之助</p>	<p>古河^炭好間鑛業所</p>
<p>平製氷株式會社 <small>專務取締役 加納 五郎</small></p>	<p>小名濱水產株式會社</p>	<p>磐城炭礦株式會社 礦業所</p>	<p>入山探炭株式會社 坑務所</p>	<p>平町長 伏見 彦衛</p>	<p>安島重三郎</p>	<p>石城郡草野村 渡邊 貞三</p>	<p>縣會議員 鈴木辰三郎</p>
<p>植田水力電氣株式會社 <small>社長 金 成 通</small></p>	<p>衆議院議員 木村 清治</p>	<p>縣會議員 山崎 吉平</p>	<p>飯野村長 伊藤淺之助</p>	<p>縣會議員 鷺 清昇</p>	<p>縣會議員 若松美三</p>	<p>縣會議員 古川傳一</p>	<p>平町五丁目 釜屋商店 <small>電話九番、一三九番</small></p>

